


No.	117	<h1>天体観察</h1>			
概要	○天体望遠鏡を使い、月や星などを観察する。荒天時は、画像や映像を見ながら天体についての話を聞く。				
内容	人数(人)	~40人	時間	1~2時間	
	対象	小4以上	時期	通年	
	場所	研修室、屋外			
	指導形態	自主活動 ・ 職員による事前の説明のみ ・ 講師による直接指導			
安全管理	引率者による監視				
ねらい	○実際に星空を見ることによって星への関心を高める。 ○天体について見たり聞いたりすることで神秘の世界を感じる。 ○器具の扱いになれる。				
準備	施設から貸出	・天体望遠鏡 ・ 三脚			
	団体で準備	・寒い時期は防寒具			
	確認事項	・児童の安全管理については団体の責任で行い、話の聞き方等も事前に指導をしておく。 ・荒天時は、研修室等で、天体についての学習をする(パソコン、スライド等を利用)			

	内 容	留意事項
活動前	講師と本施設職員で天体望遠鏡等の準備をする。 	
活動の説明	<団体担当者による説明> ・あいさつ ・講師の紹介	・団体に必要に応じて説明内容を加えらるとよい。 ・望遠鏡の近くを走り回ったりすることのないよう、安全には十分注意する。
展開	<講師を依頼した場合> 研修室に集合 ○はじめのあいさつ ○講師紹介 ○天体望遠鏡による星の観察（荒天時は天体の講話） ○感想発表、お礼のあいさつ ○活動終了後、天体望遠鏡等器具の片づけ	・観察をして発見したことや驚いたこと、感じたことを発表し合うとより学びを深めることができる。